

平成 21 年 3 月 25 日

関係各位

京都大学大学院理学研究科
附属地球熱学研究施設長 竹村恵二

教員の公募について（依頼）

当研究施設では下記により教員（教授）を公募します。
つきましては関係の方々に周知戴きますようお願い申し上げます。

記

1. 職種・人員： 京都大学大学院理学研究科 教授 （1 名）

2. 専門分野： 地熱流体論研究分野

地熱流体の循環や地熱流体を通してのエネルギーと物質輸送過程に関する研究・教育を推進できる方。

なお、理学研究科では、第一期の中期目標・計画として、研究科附属施設の整備を進め、教育研究の高度化に資することとしてきた。また、21 世紀 COE プログラム「活地球圏の変動解明：アジア・オセアニアから世界への発信」において、地球熱学研究施設は地球惑星科学専攻の一員として「水・熱フロー」をキーワードとした多目的野外観測拠点を形成し、活地球圏における物質とエネルギーの循環過程の理解を深めるとともに、京都キャンパスにおける地球熱学の基盤教育研究拠点を形成して若手研究者育成に努めてきた。これらの観点から、本施設が位置する九州地域の火山や熱的特性を活かした研究・教育や京都キャンパスでの教育・研究の進展に寄与できる方が望ましい。

採用後は、大学院理学研究科地球惑星科学専攻の教育・研究に従事する。

3. 着任地・時期：

地球熱学研究施設、主な勤務地は地球熱学研究施設本部（別府）

採用決定後、できるだけ早い時期

4. 応募資格：博士学位を有すること

5. 応募書類：

（1）履歴書（氏名、生年月日、年齢、現住所、連絡先および e-mail、高校卒業後から最終学歴まで、職歴、資格等）

博士学位（名称、取得大学、取得年月日、論文名）

（2）研究業績目録

A. 査読のある論文や総説

B. 査読のない論文や総説

C. 著書

D. その他の出版物等で特に参考となるもの

- (3) 主な論文の別刷りまたは著書 5編(複写可)
- (4) これまでの研究経過(2000字程度)(主な論文にあげた内容を含むこと)
- (5) 今後の研究の計画と抱負(2000字程度)
- (6) 本人について参考意見を述べられる方2名の氏名・連絡先

6.応募締め切り：平成21年5月22日(金) 必着

教員公募関係と明記し、簡易書留にて郵送すること

7.書類の送付および問い合わせ先：

〒 874-0903 大分県別府市野口原

京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設 竹村 恵二

電話 0977-22-0713(別府) 075-753-3940 (京都分室)

e-mail takemura@bep.vgs.kyoto-u.ac.jp

＊ なお、選考過程で、選考委員会による候補者インタビューを実施することがある。
施設の概要はホームページ <http://www.vgs.kyoto-u.ac.jp/> をご覧ください。

参考資料 (概要)

地球熱学研究施設では、地球上で最大規模の火山・地熱温泉活動地域のひとつである中部九州地域を巨大な実験装置と見なして、野外観測や物質科学的・理論的解析を行い、熱現象の総合解析を推進している。さらに、これらの結果を全地球規模で展開する同様の研究結果と合わせて、地殻表層からマントル・核にいたる熱構造と熱現象の解析を進め、総合科学としての「地球熱学」の構築を目指している。

この基本理念に立脚し、専門分野の異なる研究者が弾力的に協力できるよう、大部門制(地球熱学研究部門)を採っている。現在の人員構成は下記のとおりである。なお、現在、研究科の研究・教育の観点から2名の教員が京都勤務についている。

施設長：教授 竹村恵二

別府勤務 教授： 竹村恵二(地球熱学・第四紀学)(現在は京都勤務)、 <本公募>

准教授：大沢信二(地球熱学・地球化学)

助教： 川本竜彦(実験地球化学)、柴田知之(放射年代学)、
山本順司(同位体地球化学)

技術専門職員： 馬渡秀夫

阿蘇勤務 教授： 鍵山恒臣(火山物理学) 外国人客員：陳 中華(火山岩岩石学)

准教授：大倉敬宏(火山物理学・地震学)

古川善紹(地球熱学)(現在は京都勤務)

助教： 宇津木 充(火山物理学・地球電磁気学)

技術職員： 吉川 慎, 井上寛之

施設運営協議会委員(平成20年度)：

今井憲一, 淡路敏之, 福田洋一, 余田成男, 町田 忍, 平原和朗, 北村雅夫, 小畑正明,
竹村恵二, 鍵山恒臣, 大沢信二, 古川善紹, 大倉敬宏